

科目	臨床心理アセスメントⅢ	単位数	2
担当教員	櫻井 秀雄		
履修対象	臨床心理学科3年春学期		
目的	臨床心理査定法のうち、児童を対象としたアセスメント-特に、児童相談所や乳幼児健診、学校臨床等で用いられる知能・発達検査を中心に、事例を踏まえて演習する。特に、近年、不登校・引きこもり児童や被虐待児に何らかの発達障害が認められることを鑑み、「軽度発達障害」のアセスメントについて取り上げる。 具体的には、最初に乳幼児健診に最も適用される「新版K式発達検査2001」について、続いて軽度発達障害のアセスメントに有効なWISC-Ⅲ・Ⅳ／WAIS-ⅢやK-ABC等について、その検査法及び解釈法について学ぶ。さらには、知的発達症・自閉スペクトラム症(広汎性発達障害)・特異的発達症(学習障害)・注意欠如/多動性障害等の知能・発達検査上の特徴を概観しつつ、それぞれのアセスメントに基づく臨床心理学的介入法を紹介する。		
達成目標	「関心・意欲・態度」 (1)受動的ではなく自ら学ぶ意思を示す。 「思考・判断」 (1)他人に言われるのではなく自ら学ぼうとする。 (2)発達や知的能力のアセスメント結果から適切な指導・助言を判断できる。 (3)発達や知的能力のアセスメント結果に基づく環境調整等の決定をするプロセスを思考する。 (4)以上より、臨床心理アセスメントについて、総合的に思考・判断できるようになる。 「技能・表現」 (1)基礎的な臨床心理アセスメントの所見を作成できるようになる。 「知識・理解」 (1)知能構造について知る。 (2)発達や知的能力のアセスメント方法を理解する。		
授業計画			
1	はじめに/授業のオリエンテーション		
2	総論①/知能・発達診断とは何か？		
3	総論②/知能構造について		
4	総論③/知能・発達指数について～比IQと偏差IQ		
5	心理検査の活用(1)/新版K式発達検査法2001/姿勢・運動領域		
6	心理検査の活用(2)/新版K式発達検査法2001/認知・適応領域について(第1葉～第2葉)		
7	心理検査の活用(3)/新版K式発達検査法2001/認知・適応領域について(第3葉)		
8	心理検査の活用(4)/新版K式発達検査法2001/認知・適応領域について(第4葉～第5葉)		
9	心理検査の活用(5)/新版K式発達検査法2001/言語・社会領域について(第1葉～第3葉)		
10	心理検査の活用(6)/新版K式発達検査法2001/言語・社会領域について(第4葉～第5葉)		
11	心理検査の活用(7)/ウェクスラー法による知能検査法(WISC-Ⅲ・Ⅳ)について		
12	心理検査の活用(8)/ウェクスラー法による知能検査法(WAIS-R・Ⅲ)について		
13	心理検査の活用(9)/K-ABCの実施方法と解釈について		
14	知能・発達検査所見のまとめ方/個別教育計画(IEP)と教育評価		
15	発達検査と神経発達症および被虐待児支援		
授業形態／具体的な内容	講義形式で行う。必要に応じプリントを用意する。板書は最小限にし、各自が要約筆記に努めるようにすること。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
指定しない			
参考書	適宜配布するプリントに加え、下記の文献を参考図書とする。 福祉現場における臨床心理学の展開～医学モデルとライフモデルの統合を目指して/袴田俊一・三田英二・櫻井秀雄・西村武・寶田玲子(久美出版) 新版K式発達検査2001実施手引書/生澤雅夫、松下裕、中瀬惇編著/京都国際社会福祉センター、新版K式発達検査法2001年版 標準化資料と実施法/新版K式発達研究会/ナカニシヤ出版、発達相談と援助 新版K式発達検査2001を用いた心理臨床/川畑 隆 他/ミネルヴァ書房		

成績評価の基準・方法	授業態度、レポート、講義内容に対する疑問やコメントなども含めた総合で評価する。		
留意点	授業には真剣に取り組んでほしい。特に他の受講者に迷惑を及ぼすような態度・行動は厳に慎むこと。		
準備学習	毎回の講義についてのノートおよび配付する資料は大切に保管し、必ず、復習して、次回に臨むこと。		
備考	講義テーマ等については、変更や入れ替えの可能性はある。	No.	PY622001